

センター試験の主な変更点について

センター試験は、2012年度、2013年度と大きな変更点が相次いだ。ここでは、その変更内容を整理したい。

2012年度から継続するセンター試験の主な変更点

・受験する教科や科目の枠組みの変更

理科の最大受験科目数が3⇒2へ
公民に4単位科目の「倫理、政治・経済」が新設
「理科」「地歴・公民」は「2科目受験」の組み合わせが弾力的になる。

・地歴・公民について、多くの大学で指定科目を変更

「4単位科目」か「2単位科目」かの指定が大学により異なる。

・理科、地歴・公民に「第1解答科目」「第2解答科目」が設定される

・理科、地歴・公民を2科目受験した際、「第1解答科目」か「高得点科目」かの採用が大学により異なる

2013年度センター試験の主な変更点

・出願時の「地歴・公民」の登録内容が簡素化

前年は「地歴から1科目、公民から1科目」など、教科内の科目数まで登録が求められたが、2013年度センター試験では、「『地歴・公民』から何科目受験するか」へ簡素化される。

・センター試験出願後の登録内容の訂正が可能となる

確認はがき到着後に、訂正申請ができる(11月)。

・センター試験時に、地歴と公民の問題冊子を同時配布となる

2014年度センター試験では、以下の変更点がある。

・時計の持ち込み不可の条件が追加

今年度から、辞書・電卓等の機能の有無が判別しづらいもの、キッチンタイマーは使用できない。

・登録内容の訂正に使用する様式が2種類になる
氏名、連絡先等の訂正→「氏名等変更・訂正届」
登録教科等の訂正→「登録教科等訂正届」

受験生にとって注意が必要なこと

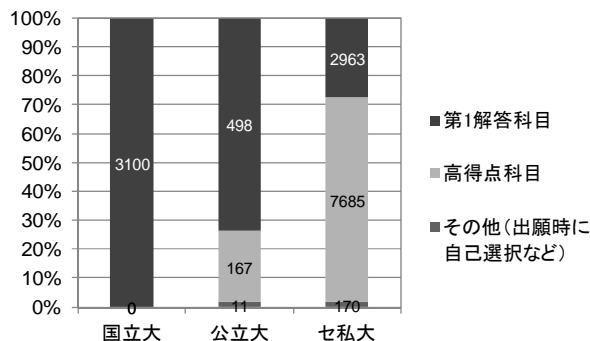
・受験生の第一志望大や併願大が、センター試験の地歴・公民において「4単位科目のみ指定」か「2単位科目も受験可能」かの確認が必要である。難関国立大では、地歴・公民で「4単位科目」を指定する動きが多くみられる。

・理科や地歴・公民を2科目受験し、第1解答科目を採用する大学を志望する場合、センター試験本番までに高得点が取れそうな科目の見込みを立て、科目順を決める(高得点が見込める科目を第1解答科目とする)ことが求められる。

下記データは、センター試験で理科、地歴・公民を課す募集単位における、「第1解答科目」「高得点科目」などの採用状況である。国立大は全て、公立大も7割以上の募集単位で第1解答科目を採用している。

「第1解答科目」「高得点科目」などの採用状況

	国立大	公立大	セ私大
第1解答科目	3100	498	2963
高得点科目	0	167	7685
その他(出願時に自己選択など)	0	11	170



* 弊社調べ。数値は募集単位数。対象科目を課さない募集単位は上記に含めていない。

上記のようなセンター試験や、出願候補となっている学校の入試内容を踏まえた上で、出願校決定を行っていきたい。

その他のセンター試験情報は、
『データネットホームページ』に掲載しています。

データネットホームページ

<http://www.bhso.ne.jp/dn/>